

法教育

法教育

センターニュース

増刊号

2008年3月28日

Law Related Education

発行 横浜弁護士会法教育委員会

法教育センターニュース増刊号の発行に寄せて

横浜弁護士会法教育委員会委員長 狩倉博之

横浜弁護士会法教育委員会では、昨年の「法教育における公正（正義）とは？～うっかり八兵衛公正を学ぶ～」に続き、本年度も「法教育におけるルールの大切さ」とのタイトルで、公正なルールについて考えていただく教材を作成しました。

法教育は法律や司法制度に関する知識を教えることにとどまらず、法の基礎にある考え方を身につけてもらうことを目的にしていますので、公正なルールは法教育において取り上げられるべき重要なテーマの一つになります。そんな重要なテーマについて、今回も「水戸黄門」の登場人物を使い、わかりやすく考えていただけるように努めました。

横浜弁護士会では、法教育委員会を中心に、会をあげて法教育の推進と普及を目指しておりますが、前号同様、本増刊号がその一助となれば幸いです。

黄門様ご一行、再び見参

～「法教育におけるルールの大切さ」ができるまで～

横浜弁護士会法教育委員会では、市民や生徒児童の皆さんに法教育を知っていただく一つの機会として、弁護士フェスタにおいて法教育を題材とした様々な活動を行っています。

そして2007年度は、前年度の展示企画「法教育における公正（正義）とは？～うっかり八兵衛公正を学ぶ～」で好評を博した水戸黄門ご一行に再び登場を願い、「法教育におけるルールの大切さ」を皆さんと一緒に考えてもらうことにしました。

この展示作品は、前回と同様、アメリカで実際に使われている法教育のテキストをもとに、当委員会でアレンジを加えて作成したものです。今回は、テキストが扱うテーマの一つ「権威」に関連して、「ルー

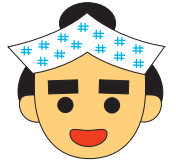
ルはなぜ必要か？」「どんなルールでも必要なのか？」「ルールをどうやって評価するのか？」といった内容を取り上げています。

誌面の都合上、取り上げることのできるテーマが限られたものになってしまうのですが、内容を多くしすぎない方がわかりやすいのではないかというのがフェスタチームの結論であり、また読んでもらいやすくわかりやすくするために、黄門様ご一行の掛け合い（会話）を中心に作成してみました。前回同様、うっかり者のくせに妙に鋭いお供・七兵衛を始めとする黄門様ご一行の旅が、ルールについて皆さんが考えてみる一助になれば幸いです。

（横浜弁護士会法教育委員会委員 須藤由理）



前口上（ごあいさつ）



一筆啓上 本日は、弁護士フェスタin KANAGAWA2007 法教育委員会の展示ブースにお越しいただき、たいへんありがとうございます。

横浜弁護士会法教育委員会では、広く神奈川県民に法教育を普及させ、法教育を通じて市民の法に対する理解を深め、法の基本的価値が社会の隅々にまで行き渡り、私たちの社会がより一層自由で公正なものとなるよう、裁判傍聴、出前授業、模擬裁判などの活動をしています。

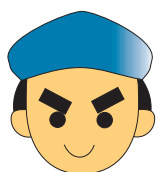
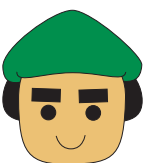
さて、私たち法教育委員会は、昨年度の弁護士フェスタにおいて、「法教育における公正（正義）とは？～うっかり八兵衛公正を学ぶ～」と題して、おなじみ水戸黄門を題材として、法教育における「公正」の概念を取り上げました。今年度は、昨年度に引き続き、同じ水戸黄門を題材として、「法教育におけるルールの大切さ」をテーマにした展示を企画しました。

今回の黄門様ご一行は、ルールに縛られることが面倒になったうっかり七兵衛の提案で、ルールのない村「アナアキ村」を漫遊します。そこでどんな騒動が起きるか、黄門様ご一行の解決策とは・・・？

法教育が全国的な広まりを見せる昨今、全国各地で「ルール作り」を題材とした法教育が実施されていますが、今回の展示をきっかけに、もう一度、「なぜルールが必要なのか」「ルールは永久不変の絶対的なものか」「よいルール、悪いルールとは？ その評価の方法」などについて、みなさんも一緒にお考えいただければ幸いです。

なお、本会場に昨年度の企画も展示しておりますので、今年度の企画と併せてどうぞごゆっくりとご鑑賞下さい。

横浜弁護士会 法教育委員会



登場人物紹介

法教育普及のため、諸国を漫遊する黄門様まんゆうさまご一行。ここではその登場人物を一挙にご紹介します。

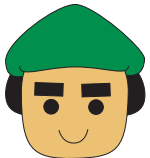
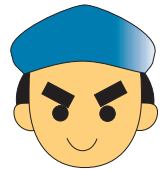


黄門様

今は昔、時の政府である横弁幕府から命じられて、法教育普及のため、身分を隠して諸国を漫遊する前の副将軍。助さん、格さん、七兵衛らのお供を連れて、市井しせいに起きる難問を法教育で次々に解決する。A型。

助さん

法教育普及のため、黄門様のお供として、黄門様とともに諸国を漫遊する剣術の達人。独身のイケメンだが気取ったところがなく、女性にも大人気。正義感が人一倍強く、情にもろくて、弱い者を見ると放っておけない性格。A型。

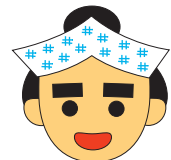


格さん

助さんと一緒に黄門様のお供として諸国を漫遊する武術の達人。正義感は助さんに負けないくらい強いが、助さんに比べるとおっとりとした優しい性格の調整型。名前と同じであごが角張っていることを少し気にしている。O型。

七兵衛

黄門様のお供。明るい性格でお人好し。うっかり者でいつも黄門様から注意を受けているが、憎めない性格の愛すべきキャラクター。特技は大食いで、特に団子には目がない。子どものような素直さで、時には黄門様が返答に困るようなするどい指摘をすることも・・・B型。



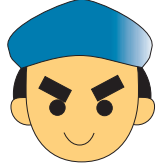
ルールの大切さ

諸国を漫遊する黄門様ご一行
うっかりしちべえは、いつものように黄門様に叱られていました。



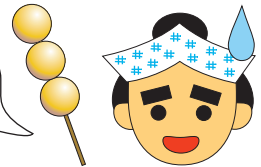
しちべえ、こんな夕方に団子を食べすぎじゃないですか

そんなところにようじを捨てるんじゃない！



こら、しちべえ、道の真ん中を歩いてはイカン

へ、へい。。



しちべえは、すっかりめんどくさくなっていました。



あ〜あ、みんなうるさいなあ アシをするなだとか、これを守れだとか・・・
良いじゃないっすか、あっしの好きにさせてくれても
もう、うるさい小言とか、守らなきゃいけないルールのない世界に行きたいナァ



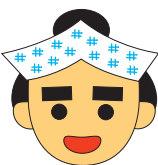
そうですか、では、しちべえにちょうどよい村がありますぞ
アナアキ村というんですが、そこには、なんのルールも法律もなく、
誰も他人に指図もしない村だそうですぞ
これから、そこにいってみましょうかの

こうして、喜ぶしちべえと、黄門様ご一行は、アナアキ村にやってきました。



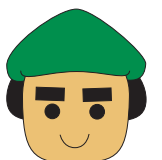
ご隠居、見てくださいよ この村では、団子もおはぎも取り放題、食べ放題
浮世絵も、かわら版ももってき放題ですよっ うれしいなあ
あっしは、おはぎをもう10個もたべちゃいました

そうか、じゃが、団子はどうしたんじゃ？



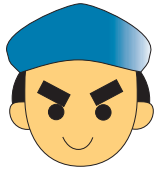
それが・・・あっしの前に行ったヤツが、ぜ〜んぶ喰っちまったんでさあ
あっしの他にも団子を食いたいやつがいたってのに くやしい〜

おはぎをほおぼりながら悔しがるとは、しちべえの食い意地にもあきれたもんだ



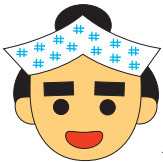
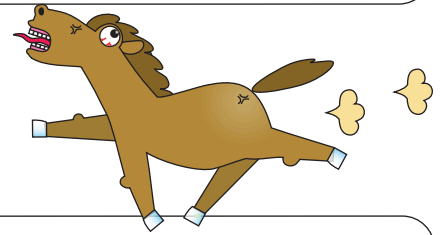


しかし、ご隠居
この村は、
いたるところゴミの山で
歩くのにも苦労しますな
お足元にお気をつけ下さい



自分たちが出したゴミを、捨てる場所とか、いつ捨てるとかそんなルールもないし、自分で片付けるということもないのじゃろう
そしてそれを誰も注意しないようじゃな
これでは、あちらこちらでポイ捨てがされてゴミの山が出来るわけじゃ・・・

馬があたりかまわずすごいスピードで駆け回っています。

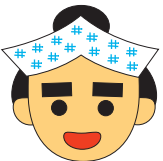


うわっ バカヤロー！こんな人ごみで馬を走らすなっ！
ご隠居、あっしは、もう少しで馬に跳ね飛ばされるところでしたよ



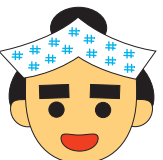
ふむ、気をつけないといけませんね 馬に乗ったまま町中を走ってはならないとお触れもないんじゃな

ゴミをよけ、馬に気を付け、黄門様ご一行は、ひとまず近くの茶店に立ち寄り、しばし休憩をとりました。



あ～、もう歩くのも一苦労ですね

そうじゃのう・・・おや、しちべえ、
おぬしの風呂敷包みはどこへいったのじゃ



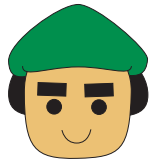
へ？あれ？ないですね 確かにここに置いたのに・・・
さっき取ってきたあっしの大事な浮世絵が・・・
あーっ！盗まれたっ！！

遠くに目をやると、確かにさっきまでしちべえの横に置いてあった風呂敷包みをもって、スタコラサッサと逃げていく者がいます。



ちきしょー！！逃げられたー！！うえ～んっ！！

ま、しちべえもタダで取ってきた浮世絵だし、しかたあるまい

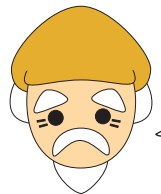
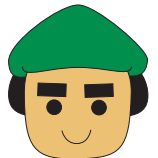


お気に入りのミニ印籠いんろうも入っていたのに～っ！



おや、格さん、どうしました？

いや、ご老公、この村では、ちょっとしたいさかいがあると、
すぐに喧嘩けんかになるんですな
そして、それを誰も止めない
それだけじゃありません だれもろくに罪を調べもせずに、
適当に牢屋に放り込んでしまうんです ひどいものです



ふむ、予想以上に困ったことになっておりますな

考えてみよう

○しちべえは、どういう世界にあこがれましたか？

→ルールや決まりがなく、誰からも指図や注意をされない世界

○そこでは、ルールがないために、どんな問題がおこっていましたか？

→早い者、強い者が、好きなものを好きなだけとってしまうので、そうでない人達は、いつも余り物しかたべられない。

→ゴミ捨て場が決まっておらず、ポイ捨ても注意されないので町中がゴミだらけになっており、町の環境や秩序が害されている。

→街中を馬が走らないというルール（交通ルール）がないため、馬にひかれる（交通事故）危険があり、人の生命・身体に危険がある。

→いさかやもめ事の解決のルールがないので、喧嘩になり、腕力の強いものが勝ち、弱い人がいつも強い人たちのいいなりにならなければならない。

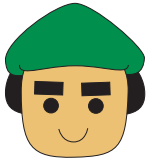
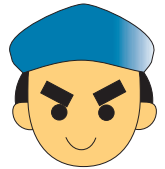
→罪を調べもせずに牢屋に入れられることがあるので、人の自由が不当に侵害されることがある。

うっかりしちべえは、おはぎをもぐもぐ食べながら言いました。



ご隠居！たしかにこの村は、おはぎ食べ放題とか、浮世絵もってき放題とか、いいこともありやすけど、不便なことも多いっす
特にあっしは、あのミニ印籠を盗られたのが悔しくて…！

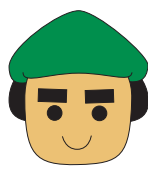
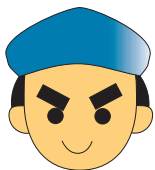
この村の者たちの中にも、今の状態に不満を持っていたり、困ったりしている者がいるようですよ・・・



ご老公、ここは一つ、どうにかなりませんか

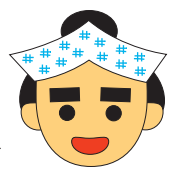


ふむ・・・そうですね それでは、すけさん、かくさん、それにしち村の広場に、みなを集めてもらえますかな



はっ！

へえ！



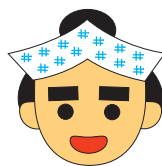
そんなわけで、広場には、村の人たちが全員集まりました
「なんだなんだ？」
わいわいがやがや、首をかしげる村人たちに向かって、
黄門様は言いました



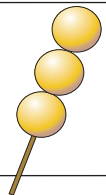
村 人 達

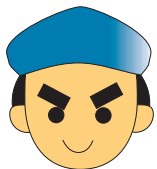


みなさんは、今、どんなことに不安や危険を感じていますかな？



ご隠居、あっしは団子がほしかったのに、
腕っぶしの強いヤツらがみんなを押しつけて全部喰っちゃうんで、
団子が食べなかったなあ・・・





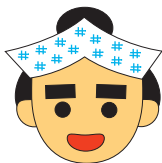
しち、お前のことを聞いているのではないぞ
・・・ああ、でも、ゴミがあっちこっちに捨ててあるので歩きにくい
し、臭かったりしましたね



村の娘

そうそう、このあいだ馬に蹴られてケガをした人がいたんですよ

馬に乗ったまま、町中を走ってたりするの、
とても危ないですよ



それに人の物を盗ってくやつもいる！あっしのミニ印籠、返しやがれ～！

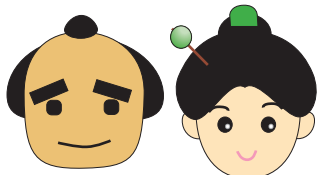
そうそう 私も自分の財布がいつも心配です



村 人



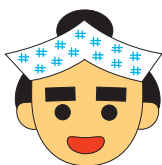
それでは、みなさんが安全で平和に暮らせるように、
ルールを作ったらどうですか？



ああ、なーるほど

それは妙案。

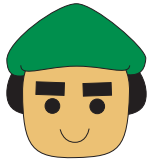
そこで村の人たちは、自分たちの困っていることについて意見を出し合い、
その結果、いくつかのルールができました。



団子屋に行った時は、店の横にある脇道に並んで、順番で買うことにな
りやした
これならあっしも、ちゃーんと並べば団子が喰えるって寸法だ！

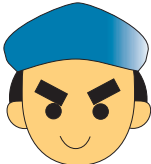
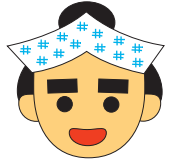
ゴミを捨てる場所が決まったので、町もきれいになり
ましたね





人の歩く道を通るときは、馬を降りなければいけないことになりました
これで馬にはね飛ばされる危険も無くなりましたよ

**それに、人の物を盗っちゃならねって事にもなったし、何をしたら牢屋
に入れられるかも決まったから、これであっしの物も盗まれねえや**



そうだな しちが「食い意地が張ってる」からって、
いきなり牢屋に入れられることもないわけだ



そいつはひでえや・・・

村の人たちは、自分たちの生活が安全で平和になったことを、たいそうよろこび、
「他にも村のみんなでルールを作ってみます」と言いました。

考えてみよう

○ルールは、問題解決にどのように役立ったのでしょうか？

アナアキ村は、これまで何のルールもなく、他人と一緒に生活していくには色々と問題がありました。

しかし、ルールが出来たことで、アナアキ村には、このような変化が起こりました。

- ・順番に並べば、みんなが団子を手に入れられるようになりました。
- ・町がきれいになり、歩きやすくなりました。
- ・道が安全に通れるようになりました。
- ・物が盗まれないですむようになりました。
- ・勝手に牢屋に入れられて、不当に自由を奪われないですむようになりました。
- ・団子屋に並ばないといけない、ゴミを好き勝手な場所に捨てられない、馬に乗ったまま人の歩く道を通れないなど、負担や責任が生まれました。

このように、ルールは私たちの社会の中で、次のような点で役に立っていることがわかります。

●ルールは生活の秩序を守り、保護し、安全にします。

→例えば、アナアキ村では、争うことなく団子を買える、道がきれいになる、安心して道を歩けるなど、生活の秩序と安全が守られています。

●ルールは、みなさんの身体や財産、大切な自由や権利を守ります。

→例えば、アナアキ村では、馬にひかれる心配もなく、物も盗まれる心配もないなど、村人の身体や財産が守られています。

●ルールは、みなさんが欲しいと望むものを公正に配分すると同時に、負担や責任も公正に配分して共有することを保障します。

→たとえば、アナアキ村では、ルールを守れば誰でも団子を買えますし、ケガをする心配ありません。しかし、みんな団子屋に並ばなければならず、馬に乗ったまま人の歩く道を通ることはできません。

アナアキ村の人々は、ルールを作ってから、物事の解決はよりスムーズになりました。

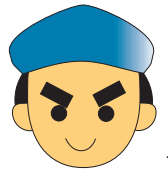


いや〜、キッチンと団子屋に並ぶというルールのおかげで、お団子にありつけるようになりました
浮世絵も取られなくなってルール万歳ですね。ご隠居！



黄門様、ルールのおかげで道を安全に歩けるようになりました
ありがとうございます

道の使い方が秩序あるものになってきましたな



ご老公、ゴミを捨てないというルールが出来たことで、
色々な場所がキレイになりました



ご隠居、この村、ずいぶん過ごしやすいになりましたねえ

ほっほっほっ、本当にそうですねえ
ルールを決めると、やはりいいことがありますねえ

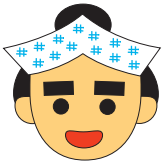


おかっぱき

岡引の小平次は、ケンカを防ぐためのルールを守らせました。
「2人ともケンカをやめろ、さもないと奉行所に連れて行くぞ！」
といって、こまめに仕事をしました。
おかげで村人たちは、ぐっすりと眠れるようになりました。
彼らは自分たちの安全や財産については、
もう心配する必要が無くなったと思っていたからです。

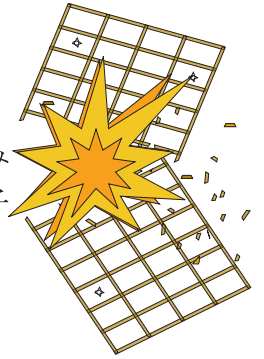


でも何人かは、ルールに従うことをあまり好きではありませんでした。



でもなぁ・・・ルールが出来る前には、
おはぎも食べ放題だったのにナァ、やっぱり前のほうが
よかったかも

また一部の村の子供たちは、ルールによって自由が奪われたと思いこみました。子供たちは、ルールをととても息苦しいものだと感じ、夜、寺子屋の障子を壊してまわったり、盗んだ牛車で走り出したりしました。



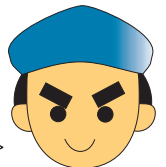
多数決で決めたルールだけど、オレは、反対したんだから
このルールは守らないぞ！

また、他にも困ったことがありました。



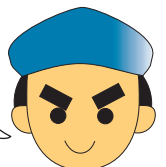
あ〜あ、喉が^{のど}渴いたナァ・・・

どうしたんですか、井戸水はいっぱいあるんだから、
飲んだらいいじゃないですか



それが・・・日照りが続いて水不足のときにつくった『水は、一日に、
ひしゃく2杯しか飲んではいけない。』というルールがあるんで、
飲めないんですよ

でも、もう雨はたくさん降って、水もいっぱいあるじゃないか



そうは言っても、ルールはルールですしねえ
破ったら大変なことになりますし



この他にも、アナアキ村には次々と新しいルールが出来ました。



考えてみよう

これらのルールに問題はありませんか？

- ① 水は一日にひしゃく2杯しか飲んではいけない
- ② 約束の時間に遅れたら切腹
- ③ 子供は危険な場所で遊んだら、重い罰を与える
- ④ 米が不作のとき、左利きの人には米を食べるべからず
- ⑤ 村人は健康のため、毎日、一時間で50キロ走ること
- ⑥ キリスト教は禁止！



あ〜あ、ご隠居の言うとおりにルールを作ってみたはいいいけど、
なんだかへんてこなルールもたくさんできちまりましたねぇ
中には「ルールが出来ても、でも、そんなの関係ねぇ！」
って言って破っちゃう悪い輩もいるし・・・
でもルールは必ず守らなくちゃいけないんですよねぇ、ご隠居！？



しち、そんなことはありませんぞ ルールといっても人の作るものだから「絶対」
ではないのですぞ
ルールは元をただせば、世の中をより良くするために作ったものじゃ
だから、そのルールが世の中を良くしていない部分があれば、それを皆で直してい
けばいいのじゃ よく話し合って、よりよいルールを作っていけば、「そんなの関
係ねぇ！」と言っている輩も自然とルールを守る大切さを理解してくれるはずじゃ

そっか！じゃ、ルールも直せるんですね！
そしたら、やっぱりおはぎ食べ放題って決まりは復活させましょうよ、
ねぇ、ご隠居！！

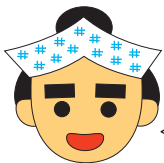


これ、しち わしはそのルールは復活させる必要はないと思いますぞ
それよりも、
①日照りの時に作った、「水はひしゃく2杯まで」というルールは、水が十分に
ある時にも必要かの？ どうじゃ、そこの人

水が足りないときには、大事なルールでしたが、今、水が十分にあるのなら、
ひしゃく2杯というルールは必要ないと思います



そのとおり
ルールには、特別なときにだけ必要になるものもあるのじゃ
人の行動を、必要のないときまで広く制限するのはよくないことじゃ
だから、このルールについては日照りの時に限って有効としたらどうかな？



やった、やった！これで何杯でも水が飲めるぞ！

これ、しち 飲み過ぎて腹を下さないようにしろよ！





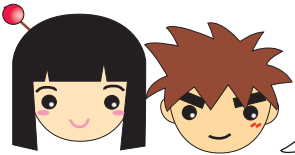
ご隠居、②約束した時間に遅れたら切腹、というのはあまりに厳しすぎますね
ルールは大切ですが、違反したときの罰が厳しすぎる決まりは、人のためにならないでしょう

そうですね

切腹ではなくて、たとえば反省文を書くとか、あるいは3回遅れたら名前をかわ
ら版に公表するというのはどうですか
もちろん、具体的な罰は、どのような種類で、どの程度のものがよいのか、村人
全員でよく話し合って決めたらどうですか



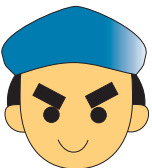
しち、よかったな！遅刻魔のお前だといくら切腹する腹があっても足りないん
じゃないかと心配していたが、これで切腹しないで済むな はっはっは！



子供は危険な遊びをしてはいけないって、どんな遊びが危険かよく分か
らないよ！

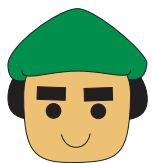
村の子供たち

そうじゃの もっと禁止する危険な遊びがどんなものかはっきりと書かなく
てはならんの 例えば、底なし沼の近くに入ってはいけない、裏山は目印に
なる木より奥へは入ってはいけない、川での水遊びは大人と一緒にいかに
くてはならない、などかの
禁止される遊びをきちんと村人で話し合って決めることが肝要じゃ



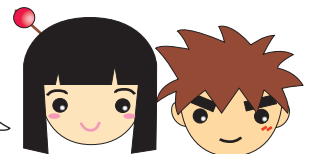
なるほど 子供たちもこれで禁止されている危険な遊びと、禁止されてい
ない遊びと区別して安心して遊ぶことができますね

そうだそうだ 子供達のストレスもこれでだいぶ解消されますね！



そうだな、これでしちべえもストレスなく遊べるな！

あそべるね！しちべえおじさん！！

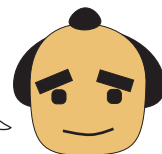




ほっほっほ・・・

④米が不作だからといって左ききの人は米を食べられないとはまったく不平等じゃの 理由のない不平等な決まりはいかん 全員が米を食べる量を減らすようにしたら、平等じゃないかの

そうか、そういう風にすれば平等になるなあ



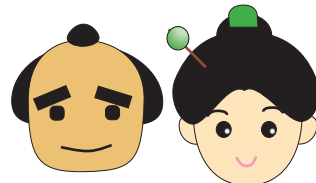
⑤村人は健康のため1時間で50キロ走ること、というルールはどうかの？ 皆の衆、本当に1時間で50キロも走れるのかの？

いや、じ、じつは、村の健康オタクのマラソン好きが、どうしても健康にはマラソンしかない、しかも50キロは軽いと言うんで、皆しぶしぶこのルールを作ったんですが、良く考えたら、時速50kmで走れってことなんですよ 到底無理で・・・みんなも困っているのです

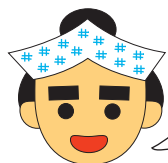


そうじゃろ 無理なルールを作っても守れなければ意味がない もっと実現できそうなルールにしたらどうかな 村人同士でよくよく話し合って決めることじゃ

はい！



⑥と、ところで、え〜と、キリスト教を禁ずる・・・という決まりは、コホンッ、このご時勢^{じせい}だから仕方ないかの・・・

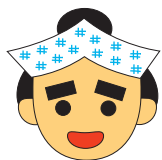


え、でも、キリスト教を信じたい人がいたら、それはその人の自由なんじゃないんですか？ あっしは、どこかで「信教の自由」って言葉を聞いたことがありますぜ、ご隠居！

これ、しち、口をつつしみなさい

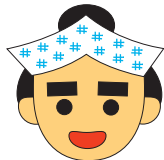


しち、ご隠居は前の副将軍^{さき}なのだぞ。わかっておろ・・・おるのか！？

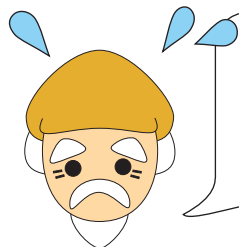


そりゃ、ご隠居は幕府の偉い人ですけど・・・

キリスト教が許されるのは、も、もっと後の時代のことじゃし・・・
い、今は、ダメなものはダメとしか・・・（大汗）

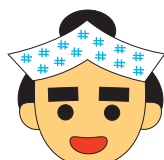
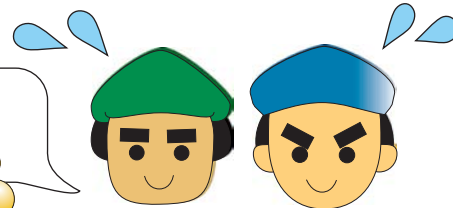
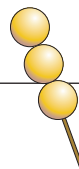


ご隠居も、偉そうなこと言ってるけど、全然説得力無いよなあ
よりによって、「ダメなものはダメ」だなんてさ・・・
あっしは、キリスト教を信じたい人は信じればいって思うけど、
それって間違ってるのかなあ？



ま、まあ、ひ、人はあやまちをおかすこともある。幕府のル
ールも人の作るものじゃ・・・
歴史に学ばねばならんということじゃの・・・
すけさん、かくさん・・・

は、はい
さ、さあ、しち、うまい団子があるぞ～っ



わーいっ、団子～！！
んっ？？ なんかごまかされてないかな？？



たとえ皆で決めたルールであっても、きちんとした理由なく、大切な権
利を奪うことは許されんの
今回は、一件落着、とはいかんようじゃ・・・
わしもしちべえと一緒にルールについて勉強しなおさねばならんのう

考えてみよう

アナアキ村のルールにはそれぞれどのような問題がありましたか？

①水は一日にひしゃく 2 杯まで	水不足でないときまで，ひしゃく 2 杯に制限する必要があるか？（必要性）
②約束の時間に遅れたら切腹	罰が厳しすぎないか？ （罪と刑罰の均衡）
③子供は危険な遊びをしてはいけない	何が危険な遊びか分かりやすいか？ （明確性）
④米が不作のときは左利きの人は米を食べられない	特定の人を不当に差別していないか？ （公平）
⑤村人は 1 時間に 5 0 キロ走ること	1 時間で 5 0 キロも走れるのか？ （実現可能性）
⑥キリスト教を禁止する	信教の自由が侵害されていないか？ （重要な権利侵害）

ルールは必要以上に人の行動を制限してはいけません。

ルール（刑罰）は罪とバランスがとれていなければなりません。

ルールは明確でなければなりません。

ルールは公平でなければなりません。

ルールは実現可能でなければなりません。

ルールは人の重要な権利を侵害してはいけません。

おかしいルールは後から変更することが出来ます。



おわりに



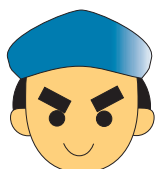
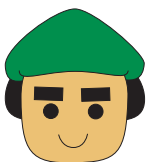
今日は、法教育委員会の展示ブースにお運びいただき、大変ありがとうございました。今回の展示はいかがでしたでしょうか。

私たちの社会の中には、さまざまなルールが存在します。ルールは、ときにはそれがわずらわしいと感じられることがあるかも知れませんが、もしこの世にルールが存在しなかったら・・・、そのような架空の世界「アナアキ村」を想像することによって、子どもたちにルールの社会的意義・必要性を感じていただければと思います。また「アナアキ村」では、村民がルールの必要性に気づき、様々なルールが作られるようになりまし。しかし同時に「これは？」というおかしなルールもたくさん出来まし。「アナアキ村」で作られたルールのどこがおかしいのか、既存のルールを適正に評価できる力を身に付け、おかしなルールは変えることができることを、これからの将来を担う子どもたちにはしっかりと理解して欲しいと思います。

前回の展示でもそうでしたが、やはり黄門様も絶対ではありません。ルールを守ること私たちの生活や安全が保障されるのですから、ルールを守することは、もちろん大切です。しかし、それと同じくらい、どうしてそのルールを守る必要があるのか、どうしてそのルールができたのか（必要だったのか）を考えることが重要であり、また既にあるルールについて、おかしな点はないか、現在の社会に適合しているかをチェックしていくことも大切です。

わが国においては、平成16年5月にいわゆる裁判員法が成立し、その成立から5年以内に裁判員制度が実施されることになっています。今後、より一層、国民の政治参加、社会参加が求められていく社会において、子どもたちに対する法教育は、ますますその重要性を増していくものと思っています。

横浜弁護士会 法教育委員会





2006年に引き続き、2007年に開催したフェスタの展示物を増刊号にすることができました。全体をデータ（PDF）の形で作ることができましたので、ホームページなどでも見ていただけると良いなと思っています。フェスタでの展示物ですので「読み物」としての傾向が強く、また弁護士だけだと「教材」としての作成には限界がありますので、今後、ますます学校の先生と協力しあって法教育を進めていく必要があると感じました。

（増刊号編集長 青木 康郎）



今回の展示は、楽しく読みやすいものを目指して、黄門様ご一行の会話形式でお話を進めていきました。前回にも登場したかわいいイラストと、キャラクターの性格がよく出ているセリフの応酬によって、彼らの珍道中と今回のテーマであるルールの大切さがより伝わりやすいものになっていれば幸いです。どうやらキャラも定着しつつあるようなので、また別の教材等で皆さんの前にお目見えさせられれば良いなと思います。

（須藤 由理）

今年度初めてフェスタの企画に参加しました。参考にしたアメリカの教材を日本の文化や言葉にすることから悩みが多い作業でしたが、黄門様ご一行の活躍で子ども達に楽しくわかりやすいものになったのではないかと思います。

（長谷川 範子）



水戸黄門と一緒に学ぶ法教育シリーズの第2弾です。今回の展示では、法教育を受ける生徒たちに、いかに分かりやすくルール作りの大切さを伝えることができるかにポイントを絞りました。ルール作りに関しては、ルールを作る代表者をいかに選考すべきか（ルールの作成過程）や、その代表者の権威や権力が何に由来するのか、権威や権力の問題点等も法教育の題材になり得ます。今回の展示をもとにして、そこにまで切り込んだ教材が出来れば良いなと思っています。

（宮下 京介）



今回は、主にレイアウトの仕事を楽しくさせて貰いました。登場も2回目となり、黄門様一行のイラストにも愛着がわいてきました。もし再登場することがあるのならば、そろそろ胴体部分も作ってあげたいなと思います。せっかく教材として作成しましたので、私たちが今まで取り組んできた「ルール作り」の授業と関連させて、うまく実際の授業に取り込めたいかと考えています。

（村松 謙）

